

アクセス



※地図URLで「北陸電気工事 能力開発センター」を検索してください。

安全体感実習について

安全体感実習は、下記のコースより選択可能です。

- ・午前コース 9:00～ 12:00 (5～8名まで)
- ・午後コース 13:30～ 16:30 (5～8名まで)

- ・安全体感実習は事前予約が必要です。
- ・安全体感実習は電気工事関連企業を対象としております。それ以外の法人・団体については別途ご相談ください。
- ・予約は原則、先着順にて受け付けますが予約状況によっては日程を調整させていただくことがあります。
- ・安全体感実習受講をご希望される場合は、下記「安全体感実習受講申込みURL」よりお申込みください。
- ・安全体感施設ホームページの「利用誓約書」記載の安全上の注意事項を一読頂きますようお願いいたします。

お申し込み方法

①パソコンの場合

<https://taikanshisetsu.rikudenkoaneikyo.com/>
上記のURLから①のページを開き、画面の指示に従って
お申込みください。

②スマホの場合

右②のQRコードをスマホで読み取り、画面の指示に従って
お申込みください。

※北陸電工安全衛生協議会会員企業・北陸電工協会の会員企業は別途
URLからお申込みください。



① お申込み
ページ

② お申込みURL
QRコード

SAFETY EXPERIENCE FACILITY

安全体感施設

見て、触れて、体感して、
災害ゼロへ!!



⚠ 危険を予知、察知!

危険を体感して、『安全意識』を高める!!

目指せ ゼロ災害!!

当社では「能力開発センター」にて、人材育成教育を行っております。安全体感施設は当能力開発センター敷地内に設置しております。過去に起きた災害事故は二度と繰り返してはならず、危険を疑似体感する事によって、『危険に対する感受性』を高め災害未然防止を推進しております。



北陸電気工事株式会社 能力開発センター

体感施設のご紹介 Our Accident Simulation Facility

1. 講義 Lecture



・作業災害の推移
・交通災害の推移

当社における災害事故の推移を紹介いたします。長年に渡って現場を経験してきたエキスパート講師が安全の勘所を説明します。

2. 脚立・はしご落下体感 Simulated Falls from Ladders



① 脚立高所落下体感
② はしご高所落下体感

脚立・はしごは身近に使用するものであり、転落等による骨折・重篤災害等が発生しております。危険を体感する事で安全な使い方を再認識しましょう。

3. はさまれ体感 Simulated Entrapment



③ 玉掛ワイヤ挟まれ体感
④ 玉掛ワイヤ破断体感
⑤ 荷ぶれ体感

クレーン、玉掛作業時の危険(玉掛ワイヤ挟まれ・ワイヤ破断・荷ぶれ等)を再認識しましょう。

4. 高所危険体感 Simulated Fall from Height



⑥ 墜落体感
⑦ 安全帯ぶら下がり体感
⑧ 安全帯衝撃落下体感
⑨ はしご道昇降体感・3点支持
⑩ ヘルメット衝撃耐貫通体感
⑪ 開口部踏抜き体感
⑫ 高所足場板歩行体感

高所からのフルハーネス型安全帯を装着したダミー人形の落下、およびサンドバッグの落下を目の当たりにでき、衝撃のすさまじさを認識できます。またヘルメットの衝撃耐貫通精度、並びに開口部踏み抜き、高所足場歩行を体感して高所における危険性について再認識しましょう。

7. VR体感等 Virtual Reality Simulator



⑬ VR体感
⑭ ケーブル結束熱
⑮ 低圧感電体感

VR装置による墜落・落下体感等が可能です。視覚のみならず、音・風圧・揺れもシミュレータ機器に搭乗して体感できます。

6. 巻き込まれ体感 Simulated Entanglement



⑯ 回転刃物手袋巻き込み体感
⑰ 研削といしはじかれ体感

回転する刃物工具を使用する際の手袋着用は禁止されています。このような回転工具利用時は、誤った使用による事故の危険性が高いので、実際に見て危険性を再認識しましょう。

5. 感電短絡体感 Simulated Electric Shock



⑬ 高圧3相短絡体感
⑭ 高圧感電体感
⑮ 低圧2相短絡体感

高圧・低圧充電線を用いた短絡(ショート)等を再現し、発生するアークや音を目の当たりにして、検電や防具・保護具の必要性等を再認識しましょう。

安全を教えることは 危険を教えること!



危険を実体感し、脳と体で再認識
→ ⚠️ 危険を予知、察知!



7種類の危険、20項目の安全体感実習が受講可能!!